

学校目標・経営方針	校訓「至誠無息」を生活の中での心得として、常に目標や理想を高く掲げ、真摯に生きることを求める。
-----------	---

山梨県立山梨高等学校 校長 小尾 きよこ

本年度の重点目標	I 学びの本質に迫り、自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成
	II 誇りと気概を持ち、自他を敬愛する豊かな心を持つ生徒の育成
	III 生命や人権を尊重し、心身ともにたくましい生徒の育成
	IV 地域や保護者に信頼される学校づくりを目指す

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価						
番号	評価項目	本年度の重点目標		年度末評価(2月12日現在)		
		具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	学びの本質に迫り、自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成	「主体的・対話的で深い学び」への授業改善の推進	授業改善による評価、授業改善アンケートや定期試験及び模擬試験等で評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時休業中からオンライン授業に取り組み一定の成果を上げた。授業の進め方の部分で制約が多く、「主体的・対話的で深い学び」の推進は、授業改善まで結びつけられなかった。 ・キャリア形成を図る探究的な学習活動は、インターシップの中止や修学旅行の中止など生徒の活動や探究心を後押しする活動が思ったようにできなかった。 	
		学習意欲を高め、学習習慣の確立につながる学習評価の改善	学校評価アンケート(生徒、保護者、教員によるアンケート)及び授業参観アンケート。			
		自己の在り方生き方を追究し、キャリア形成を図る探究的な学習活動の充実	TS事後アンケート。ポートフォリオ作成状況。			
2	誇りと気概を持ち、自他を敬愛する豊かな心を持つ生徒の育成	学校図書館の積極的な活用による読書活動の充実	朝の読書アンケート。図書館利用状況及び図書貸出状況等の調査	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の活用は昨年度よりも活性化した。読書活動では「贈りたい本大賞」に入賞する生徒や学校賞もいただき、一定の成果が出たと考えられる。 ・ボランティア活動を始め、体験活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から積極的に進められなかった。 	
		自己肯定感・自己有用感を育む多様な体験活動の推進	ボランティア活動状況及びTS事後アンケート。			
		主権者として意欲的に社会参画する力の醸成	学校評価アンケートの実施。			
3	生命や人権を尊重し、心身ともにたくましい生徒の育成	健康で活力ある生活を送る土台となる基本的な生活習慣の確立	学校評価アンケートの実施。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、毎日の健康管理をClassiを使い記録・報告をさせた。日々の健康をチェックし、「新しい生活様式」への行動変容を促した。 ・生徒会活動や部活動は制約の多い1年であったが、積極的に取り組んでいた。 ・安全、防災、健康そして「命を守る」取り組みは1年間を通して呼びかけ意識を高めた。 	
		他者と協働してより良いものを創り上げる生徒会活動・部活動の推進	学校評価アンケートの実施。生徒会誌による活動状況の検証。			
		命を守る「自助・共助」の行動につなげる安全・防災教育	学校評価アンケートの実施。行事の検証。			
4	地域や保護者に信頼される学校づくりを目指す	ホームページや梨高メール、各種「便り」等による積極的な情報提供	学校評価アンケートの実施。広報物の検証。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルを進め、生徒の様子等を頻繁に発信した。新型コロナウイルス関連の情報は随時更新したり、梨高メールも活用したりして注意を喚起した。 ・各種「便り」も月1回ペースで発信し、同時にHPにもアップした。 ・例年通りの学校説明会はできなかったが、2部制にしたオープンスクールは好評であった。 	
		学校説明会や学校訪問等による地元中学校への積極的な広報活動	学校評価アンケート。学校説明会への参加状況。			
		学校評価の適切な実施と公開による教育活動の改善と一層の充実	学校評価アンケートの実施。学校評議員アンケートの実施。			

学校関係者評価	
実施日(令和3年2月17日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の重点目標は、「自ら判断し、表現できる生徒の育成」であるが、新型コロナウイルスによる休業中の影響もあり、授業の中で議論する場面が少なかったことで授業のアンケートが例年よりも評価が低いという報告を受けた。来年度は「主体的・対話的で深い学び」が生かせる授業展開を期待したい。 ・ICT教育が本格化し、機器の活用は重点課題の一つだと考えている。全校を挙げた取り組みをお願いしたい。 ・キャリア教育は、探究活動のみならず様々な場面をとらえて推進し、進路決定につなげられるような計画づくりをお願いする。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の取り組みが全校に広がってきて、それが成果として現れているのは大変素晴らしい。来年度はより一層発展的な活動ができることを期待している。 ・「高校生議会」の成果を全校的な動きにできれば、「主権者教育」が進展する。また、本校ではボランティア活動に積極的に取り組んでいるが、コロナ禍の中で制限があったが来年度は積極的に推進してほしい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染者がいなかったことは、先生方の指導や生徒たちの努力の賜だと思う。まだ終息の兆しがないが、引き続き指導をお願いしたい。 ・命を守る取り組みは今後ますます広がっていくと考えられる。自他への思いやりが外へ広がっていく事を期待している。 ・生徒会活動の自主性を引き出す指導は今後も重要さが増してくる。授業や探究活動が実践としての生徒会活動に繋がってくることを期待している。 ・防災・安全教育は、常に見直しを図り、いつ何時災害が起こっても自分の身は自分で守る意識を醸成してほしい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に支えられている学校なので、地域と連携しつつその良さを発信したり、中学校と連携したりすることも考えられる。 ・学校の広報誌やホームページはリニューアルを図った。今後は学校の情報がより個人に届く方策を増やしてほしい。